



庶民の会
林田 勉 議員

問 待った無しの交通弱者 対策！高齢者のために 細やかな交通支援は出 来ないのか

Q 高齢者タクシー券は需要がある中で近年減額されてきているが、今後はどうするのか？

A 高齢者の足の確保は重要である。現状維持で存続したい。

Q 計画中のコミュニティバスの運行内容は？いつから運行するのか？

A 小回りがきく13人乗り程度のバスとし、利便性を考えたルートや料金設定を検討中である。新年度の早いうちに走らせたい。

Q さらに便利なライドシェア（相乗り方式）を全国に先駆けて取り組んだらどうか。

A まずはコミュニティバスを走らせ、その次に研究していきたい。

問 指定管理者の労働・雇用環境は健全か？

Q 社会保険、賃金等は適正か。

A 社会保険の対象者は全て加入。労働環境悪化でサービス低下するとはあってはならない。

Q 有明の森フラワー公園やアルレッキーノは経営努力に反し赤字である。指定管理者の自由な運営形態に変更できないか。

A 指定管理者からの相談を受け、現在協議をしている。

Q 今後予定の指定管理施設はどこか。

A 銀水、武家屋敷及び舞岳山荘を予定している。

問 白土湖も観光素材！観光オブジェとして、白土湖の「浮き鳥小屋」の再設置を！

Q 島原城築城400年に合わせて、浮き鳥小屋も観光オブジェにして話題作りをしてはどうか。また、市民からのアイデアの募集、制作提供での設置はどうか。

A 白土湖は貴重なジオサイト、まずは湧水を感じてもらい、その後考えたい。



新風会
永田 光臣 議員

問 市長就任以来、最も力を いれてきた施策は何か。

Q 最も力を注いだ施策は。

A 子育て支援。IT・AIを活用する時代、観光振興や企業誘致の糸口を見つけて出すべく若い職員とベンチャー企業との交流事業。災害に強い庁舎や島原道路の建設。自ら動き、各種事業実施のため、有利な財源の獲得に重点を置いた。

Q 市の封筒に移住・定住・婚活と印字されているが、どのような思いがあるのか。

A 今年度のテーマをわかりやすく絞り、表現した。さまざまな分野を網羅している。

Q 移住・定住・婚活が今年のテーマとのことだが、「選択と集中」ではないが具体的な施策を示してほしい。

A 移住相談会の実施、定住に向けた保育料軽減などの子育て支援、婚活ではしまばら大婚大作戦等を展開。

問 産業振興

Q 「後継者不足」という言葉に違和感がある。田舎に多くいた子供に低所得のため事業主が事業継承を求めなかったことや、子供が都会への憧れ等で出て行き跡継ぎがいなくなっただけ。子育て支援も大事だが人口減少を鈍化するには、働く場所の確保や所得向上のための産業振興対策が一番大事。本市の主要産業は何か。

A 市の総生産構成比では第3次産業が主要な産業。外貨を稼ぐ農林水産業、製造業も重要な産業である。

Q 産業はつながり合う。農業や観光業は外貨を獲得する主要な産業。「しまばら観光おもてなし課」に名称を変更されたが、目的は達成したか。

A 達成不十分。やるべきことがまだある。

Q 市内の主な観光施設等への入館者はふえているのか。

A 本年度は猛暑、台風の影響等で、昨年度より若干減った。

Q 治山ダム、湧水群や大根選果場など、大自然の脅威、恵みを学ぶ場所がある。本市の財産として活用すべき。

A ぜひ参考にさせていただきたい。